

令和5年9月吉日

第47回全国大会並びに第14回植木杯争奪戦における
試斬競技要領及び評価方法について

(一社)全日本抜刀道連盟全国大会

大会実行委員長 杉山 浩司

大会審判部長 小林 三郎

表題のことについては、令和5年9月3日に開催された審判講習会において下記の基準による評価によりトーナメント勝敗及び順位判定を行うこととなりました。

よって、大会等に参加する団体等の指導者各位におかれましては、競技参加者等に対して試斬競技の要領と判定基準等を周知され、高評価の判定を得られる為の効果的な稽古を行っていただけますようお願い申し上げます。

記

1 競技種目試斬の部

(1) 二段以下の部（一人の敵：標的1本）

ア 総合評価方法は、①+②の合計点

① 試斬の流れの評価： 50点満点

一人の敵に対し、間合いを図り、如何にスムーズに抜刀して斬り込み（標的の巻き藁を単に刃筋よく斬るだけではない。）、残心・納刀が出来ているか。

② 技術の評価： 全日本抜刀道連盟制定の技斬り評価点

イ 留意事項

☆ 抜き打ちの試斬は認めない。

☆ 上記①の試斬の流れにおいて、形だけの抜き打ち等（敵を威嚇する抜き打ちの動作や敵の刀を払う動作等の形）に続いての試斬は高評価点とする。

☆ 先攻、後攻の不公平を排除するため、対戦相手が演武中は、演武場に背面を向け蹲踞もしくは正座して対戦者の演武を見ないこと。

(2) 三段以上の部（二人の敵：標的2本）

ア 総合評価方法は、①+②の合計点

① 試斬の流れの評価： 50点満点

二人の敵に対し、間合いを図り、如何にスムーズに抜刀して斬り込み（標的の巻き藁を単に刃筋よく斬るだけではない。）、残心・納刀が出来ているか。

② 技術の評価： 全日本抜刀道連盟制定の技斬り評価点

イ 留意事項

- ☆ 抜き打ちの試斬は高評価点とする。
- ☆ 試斬途中で一方の敵に対し、刀を構えなおす動作は大きな減点対象となる。常に刀の切先がスムーズに動いていることが高評価点となる。
- ☆ 先攻、後攻の不公平を排除するため、対戦相手が演武中は、演武場に背面を向け蹲踞もしくは正座して対戦者の演武を見ないこと。

2 植木杯争奪戦の試斬における評価方法

(1) 男女別の試斬本数

- ア 男性：7本、女性：5本を試斬本数とし、斬れた藁の本数の小数点第1位(0.1)まで足した数とする。
- イ 女性の斬れた本数は、斬った本数に1.4を掛けた積とする。
- ウ 横並べ斬りに関しては、巻藁の山の残しは失格とする。

(2) 同点者の順位決定方法：①⇒②⇒③の順で決する

- ① 試斬に使用した刀の鉤元の幅の狭い順
- ② 年齢の高齢順
- ③ 男女の場合は女性

以上

本件に関する質疑対応先

大会実行委員長 杉山浩司

TEL: 090-3215-9848

E-mail: platinumsugi@yahoo.co.jp